



小原 祥邨《孔雀》 昭和初期 木版 36.5×32.2cm 渡邊木版美術画舗蔵

うらわ美術館 URAWA ART MUSEUM

文教のまち浦和で、さいたま市の文化創造の拠点として活動しているうらわ美術館。約1年に渡る休館を経て、10月8日(火)、ついにリニューアルオープンします。特色ある美術館を支える、うらわ美術館の「うら」側を紹介します(P2)。



うらわ美術館 教育普及用
キャラクター「うらびい」

深緑の静謐な背景に、輝くばかりに美しく羽を広げた孔雀が画面いっぱいに描かれています。日本画と見まがうほど繊細に表現されていますが、この作品は木版画によるものです。羽の部分には、光を反射する雲母の粉を用いて光沢を出す「雲母摺り」という技法が施されています。

小原祥邨(古邨)(1877-1945年)は日本画を学び、花鳥画を得意としました。版元・渡邊庄三郎の主導のもと祥邨による繊細な表現を木版画に見事再現した、版木を作る彫師、版を用いて紙に摺る摺師の超絶技巧にただただ驚くばかりです。(うらわ美術館 滝口)
※本作品は「THE 新版版 版元・渡邊庄三郎の挑戦」(2024年11月16日～2025年1月19日開催)に出品予定です。



浦和区役所 | 〒330-9586 浦和区常盤6丁目4番4号
☎825・1111(代表・コールセンター)

編集：浦和区コミュニティ課

●人口 / 169,823人 (男 / 82,201人 女 / 87,622人)

●世帯数 / 80,344世帯 ●面積 / 11.51km² (令和6年9月1日現在)



X (旧Twitter) ▲



浦和区PR協力店 ▲



浦和区文化の小径マップ ▲